

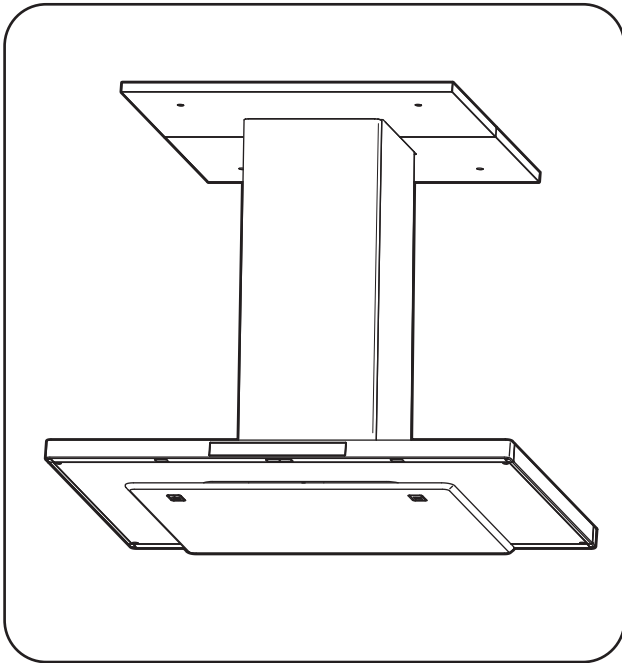
取扱説明書

レンジフード

シロッコファンタイプ

品番

GS1BHWZM55	高さ550
GS1BHWZM75	高さ750
GS1BHWZM90	高さ900



家庭用 保証書付

もくじ

特長	2~4
安全上のご注意	5
使用上のお願い	6
各部の名前	7
使いかた	8~9
お手入れのしかた	10~15
適宜	11
1か月に1回程度	12~13
1年に1回程度	14~15
設定を変えたいとき	16~17
故障かな!?	18~19
仕様	20
保証とアフターサービス	21
保証書	23

換気連動システム対応型

このレンジフードは、弊社換気連動システムに対応した調理機器との組み合わせにより、換気連動システムとしても使用することができます。

適応する調理機器は販売店にご確認ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書(23ページ)は、「お引き渡し日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

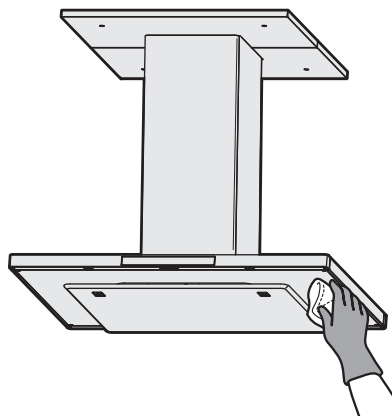
このレンジフードには5つの特長があります。

① さっと拭ける「シンプル&フラットボディ」

フード表面がフラット化されています。

タッチパネルスイッチ

フラットな面をさっとひと拭き!
タッチパネルスイッチを採用しています。

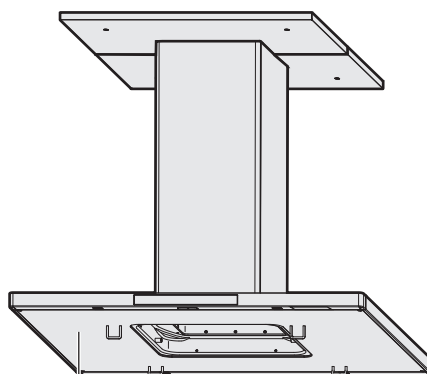
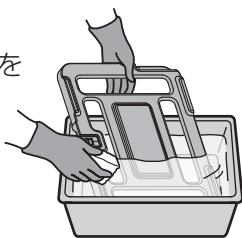


● おそうじラクラク「はつ油塗装」

油汚れのとりやすいコーティング（表面処理）が
されています。

油捕集板（ラクウォッシュプレート）・ 内フード・整流板

はつ油塗装（フッ素処理）を
コーティングしています。
油汚れが付きにくく、
お手入れラクラク！



内フード

油捕集板
（ラクウォッシュプレート）

整流板

② 「エコナビ」で省エネ運転

調理物の温度変化に合わせて風量を自動で調節します。

エコナビ スイッチをタッチすると、エコナビ運転をおこないます。

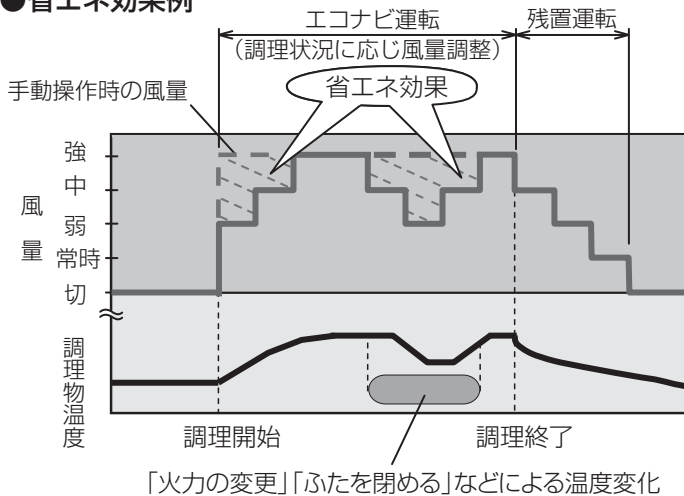
※お好みに応じてセンサー感度を変更することもできます。(P.16ページ)

●動作の目安

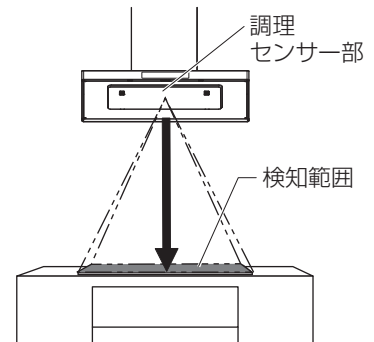


※調理内容、火力により運転風量が変わることがあります。

●省エネ効果例



●検知範囲

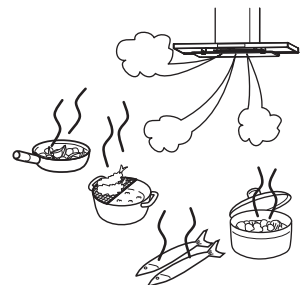


③ 「残置運転」で部屋に残った二オイを排気

「切」スイッチをタッチしてもすぐには停止せず、一定時間運転してから停止します。

運転中に「切」スイッチを1回タッチする」または「調理機器からの「切」信号を受信する」と、そのときの風量から1段階弱め、さらに約5分ごとに風量を弱め、最後に停止します。

- 残置運転中は風量ランプが点滅します。
- 常時換気モードが設定されている場合は最後に停止せず、「常時」運転になります。(P.16ページ)



特長 (続き)

④ 「油飛散運転」機能 (油トルネード機能) で羽根の汚れ付着を大幅に低減 (従来機種比1/10) 運転停止前に羽根を高速で回転させ、羽根に付着した油を取り除きます。

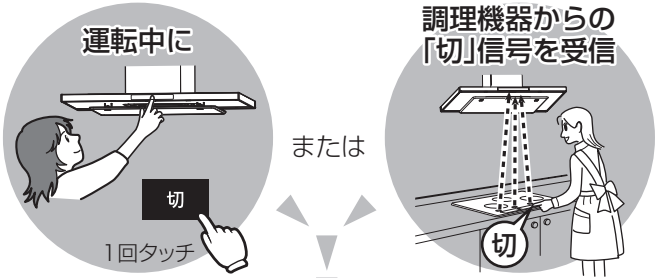
残置運転後に油飛散運転をします。
 ※残置運転前に「常時」で運転していた場合は油飛散運転しません。

例えば、

- 「中」運転を停止したとき

常時 弱 中 強

中
運転



残置運転

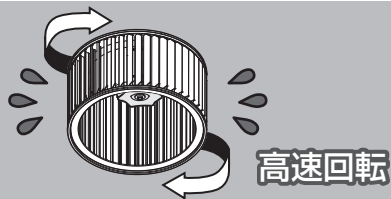


「弱」で約5分間運転



「常時」で約5分間運転

油飛散運転



「強」で約10秒間運転

※この運転は解除できます。
 (16ページ)

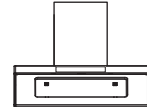
「常時換気モード：設定」のとき

常時
運転



「常時換気モード：解除」のとき

停止

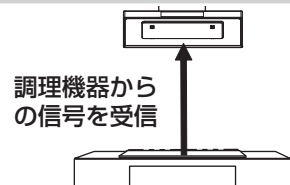


⑤ 換気連動システムで調理機器と連動運転 (換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合)

調理機器と連動してレンジフードがエコナビ運転/停止します。

- 調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

(詳細は 9ページ)





安全上のご注意



必ずお守りください







人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。







■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	
 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造しない 火災・感電・けがの原因になります。 ●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。
 水ぬれ禁止	モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります。
 ぬれ手禁止	分電盤のブレーカーをぬれ手で切/入しない
 禁止	ガス漏れのときはレンジフードのスイッチを入れたり切ったりしない スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。
 必ず守る	a.c.100Vで使用する 火災・感電の原因となります。 電気工事、管工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう 火災、感電のおそれがあります。

 注意	
 接触禁止	運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない けがをするおそれがあります。
 禁止	フード本体の上には物を置かない 落下により、けがをするおそれがあります。 お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない けがをするおそれがあります。 フード本体にぶら下がったり、もたれたりしない 落下して、けがをするおそれがあります。 照明を直接見ない 目がくらんだり、傷めたりするおそれがあります。
 必ず守る	長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
 必ず守る	使用を終了した製品は放置せず、撤去する 万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。 設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する けがをするおそれがあります。 本体はしっかり取り付けられているか、確認する 落下により、けがをするおそれがあります。 部品は確実に取り付ける 落下したり、けがをするおそれがあります。 お手入れの際は、次のことを守る ・厚手のゴム手袋を使用する ・部品が十分冷めてからおこなう ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする ( 8ページ) やけどやけがをするおそれがあります。

使用上のお願い

使用中は

■調理の際は、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとレンジフード内が高温になり、故障の原因となります。

■レンジフード運転時は、十分な給気を確保してください。

給気が不足すると、不完全燃焼・吸い込みが悪くなる・異臭がする・扉が開きにくくなる・すきま風の音が大きくなるなどの現象が発生します。

■油に火がついたときは運転を停止してください。

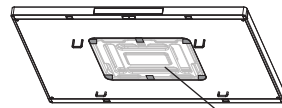
レンジフードが動作していると火の勢いがさらに強くなります。

■調理部周辺に風があたらないようにしてください。

エアコンなどの風を受けると、吸い込みが悪くなります。
特に、IH調理機器は調理による上昇気流が少ないため、油煙がフードから漏れやすくなります。

■油捕集板やフード本体に市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

吸い込みが悪くなり、異音が発生する場合があります。



市販のフィルターを重ねて使用しない

■炎のあがる調理はしないでください。

レンジフード内の異常高温による故障の原因となります。

■テレビやラジオなどは、フード本体から1m以上離してお使いください。

放送電波に雑音が混入し、聞こえにくくなったり、耳ざわりに感じることがあります。

■以下の場合ではスイッチが操作できないことがあります。

- ・指サック、傷テープ、ゴム手袋などでの操作
- ・スイッチ表面が濡れている
- ・スイッチ表面が汚れている

IH調理機器を使うときは

■冬期など気温の低い時期は、結露（水滴）が生じることがあります。

フード本体：結露（水滴）が滴下する前にふき取ってください。
整流板、油捕集板：こまめに水を捨ててください。

製品の移設やリフォーム時の注意

■受信部と照明器具を近づけすぎない。

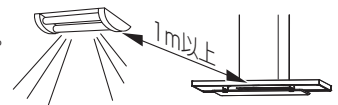
照明器具が受信部から1m以内に設置された場合、換気連動システムが正常に動作しないことがあります。

■直射日光があたるなど、極端に明るい場所には設置しない。

調理機器側からの赤外線の影響が妨げられ、動作しないことがあります。

■レンジフード設置後、必ず「取付設置条件の初期設定」をおこなってください。

設置高さ、ガス、IH調理機器の設定をしてください。（☞17ページ）
設定しないままですと、エコナビ機能が正常に動作しません。



10年程度お使いの場合

■羽根に徐々に汚れが付着して吸い込みが悪くなったり、運転音が大きくなったりすることがあります。

羽根はお手入れできない構造になっていますので、10年程度お使用で吸い込みが悪くなったり、運転音が大きくなったりした場合には、お買い上げの販売店、工事店、裏表紙の「修理ご相談窓口」に羽根の交換を依頼してください。（有償）

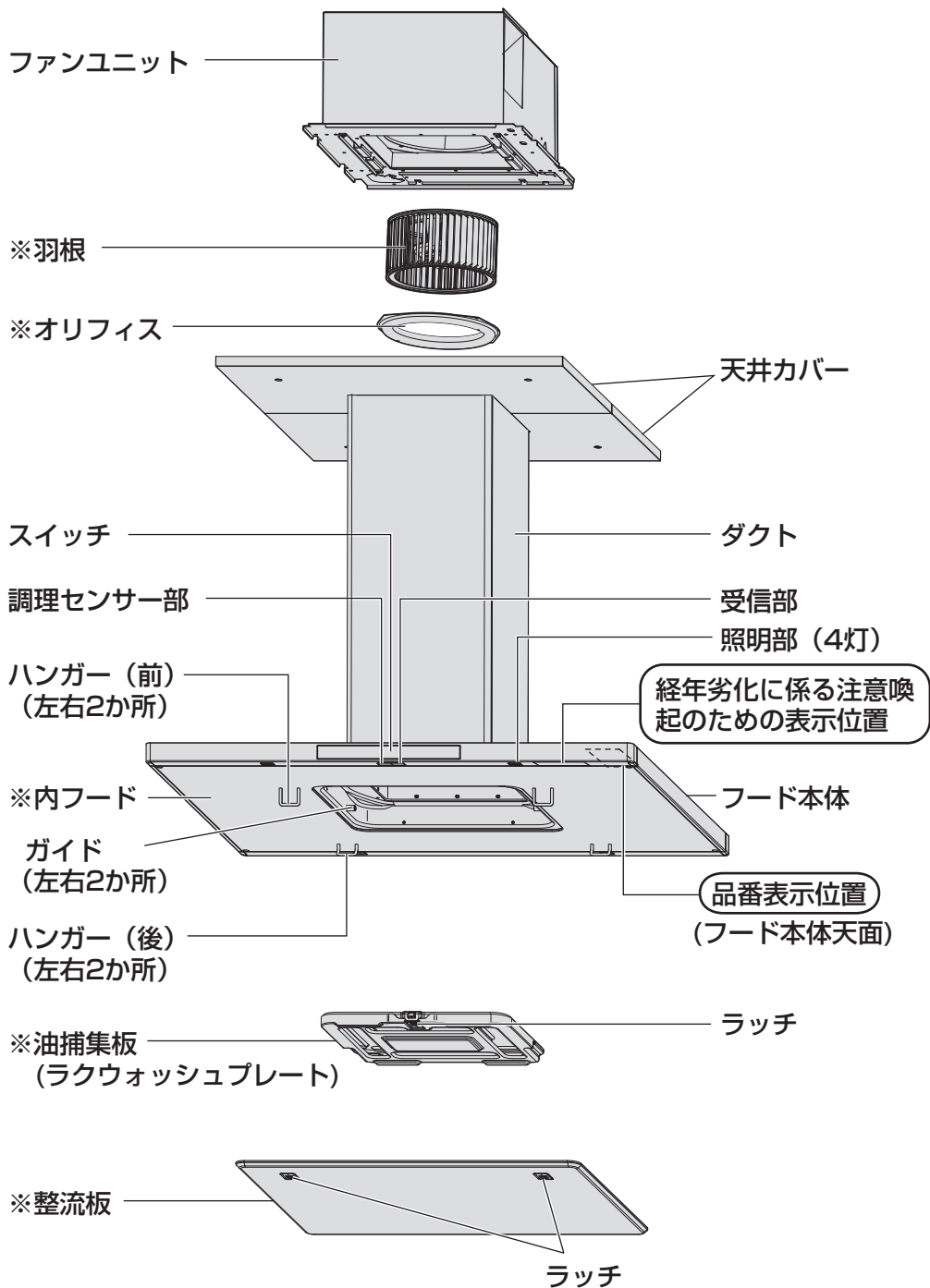
各部の名前

品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置

お願い

品番をご確認ください。

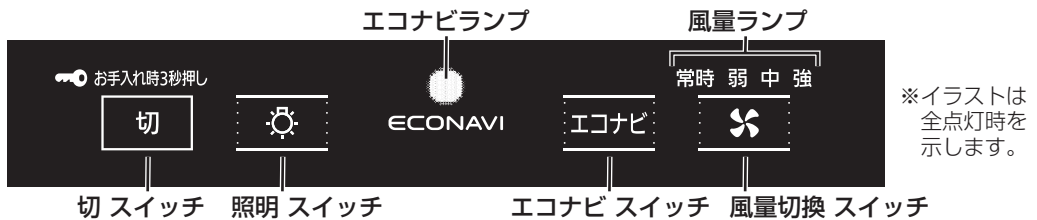
(修理依頼などのアフターサービスをご利用の際に、品番が必要になります)



※印 はつ油塗装をおこなっています。

使いかた

■ **スイッチ** 指で触れるだけで操作できるタッチパネルスイッチを採用しています。



<p>エコナビ エコナビスイッチ</p> <p>エコナビランプが点灯</p>	<p>停止中にタッチするとエコナビ運転を開始する</p> <p>調理状況に合わせて風量を自動で制御します。 (動作の目安 3ページ)</p> <p>1回タッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 停止中にタッチすると、室内外の圧力差を少なくするため5秒後に羽根が回ります。 風量が「強め」または「弱め」と感じる場合は、状況に応じて スイッチで風量を切り換えてください。その場合、エコナビ運転は停止し、切り換えた風量で運転します。
<p>風量切換スイッチ</p>	<p>風量の切り換えをする</p> <p>停止中に1回タッチすると風量「常時」で運転します。 スイッチをタッチするごとに「ピ」と音が鳴り、風量が切り換わります。</p> <p>常時 弱 中 強</p> <p>常時 弱 中 強</p> <p>常時 弱 中 強</p> <p>常時 弱 中 強</p> <p>常時 住宅全体の連続換気。 油煙の非常に少ないとき。</p> <p>弱～強 油煙の量に合わせて使い分けます。 弱…油煙の少ないとき。 中…通常の運転のとき。 強…早く換気したいとき・油煙が多いとき。</p> <p>*レンジフード運転中は、風量に合わせて風量ランプが点灯します。</p>
<p>照明スイッチ</p>	<p>照明をつける/消す</p> <p>タッチするごとに点灯⇔消灯します。 1回タッチ</p>
<p>切スイッチ</p>	<p>運転中にタッチすると運転を停止する</p> <p>残置運転 (3ページ) を開始します。</p> <p>残置運転開始* すぐに停止</p> <p>1回タッチ 切 切 2回タッチ</p> <p>* 常時換気に設定されていると、停止せず常時運転になります。(16ページ) もう1度タッチするとすぐに停止します。</p> <p>停止中に3秒長押ししてスイッチをロックする/解除する</p> <p>お手入れの際、けが防止のためにスイッチを操作できなくします。</p> <p>ロックする 解除する</p> <p>3秒長押し 切 切 3秒長押し</p> <p>ロック時は () ランプが点灯し、他のスイッチを操作しても運転しません。 (ピーピーピーピー音)</p>

常時換気運転について

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気をおこなう設備として使用できます。
 ■ 常時換気設備として使用する場合は、スイッチ近傍に「24時間連続換気してください」の
 お願いラベルが貼ってあります。
 ・ 調理時やお手入れ時以外は、常に「常時」運転で連続換気をおこなってください。

換気連動システム (換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合)

調理機器からの赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転/停止します。

調理機器の操作	レンジフードの動作	風量ランプ	照明
入	「エコナビ運転」します。 ※1	風量ランプが点灯	点灯 ※2
切	残置運転したあと、停止します。 ※3	風量ランプが点滅し、その後消灯	消灯 ※4

※1 エコナビ運転中に手で風量を切り換えると、エコナビ運転は停止し、切り換え風量で連続運転します。

※2 照明連動モードが解除されていると、照明は点灯しません。(設定/解除 16ページ)

※3 常時換気モードに設定されているときはレンジフードは停止せず、風量「常時」で24時間連続運転します。

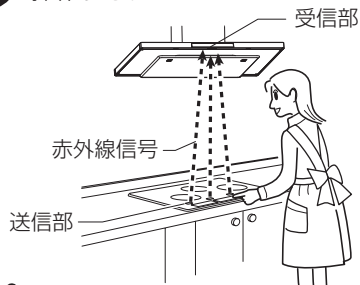
※4 手で照明操作すると、手動での照明操作が優先され、照明の連動はしなくなります。

赤外線信号をさえぎると換気連動システムが働かないことがあります。

IH調理機器では

調理機器の送信部から本機の受信部へ赤外線信号を送っています。

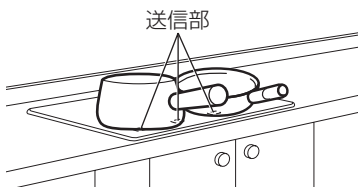
○ 赤外線信号をさえぎらないように操作する。



✕ レンジフードの真下に頭を近づけない。



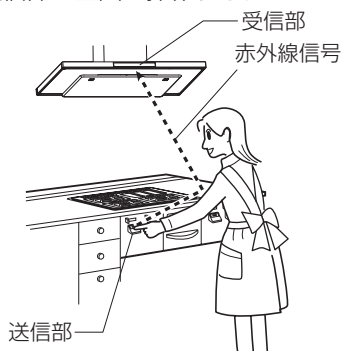
✕ 鍋などで、送信部を隠さない。



ガス調理機器では

赤外線信号を人に反射させています。

○ カウンターから約20~30cm離れ、送信部の正面で操作する。



✕ 次のような場合は連動しないことがあります。


- ・送信部に近すぎる
 - ・送信部から離れすぎている
 - ・正面に立っていない
 - ・黒っぽい服を着ている
(赤外線信号が反射されにくい)
- 連動しないときは、レンジフード本体のスイッチで操作してください。

● ガス調理機器の電池が消耗すると正常に動作しません。調理機器の説明書を確認し、電池を交換してください。

- ・換気連動システムは、弊社換気連動システム対応の調理機器との組み合わせが必要です。(他社製調理機器との組み合わせでは動作しないことがあります)
- ・対応調理機器については販売店までお問い合わせください。
- ・調理機器の取扱説明書もよく読んでご使用ください。
- ・換気連動システムが正しく動作しているか、調理機器のスイッチでご確認ください。


お手入れのしかた

警告


 水ぬれ禁止

モーターやスイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしない
ショートや感電のおそれがあります。


注意

 接触禁止


運転中や停止後しばらくの間は、羽根の中に指や物を入れない
けがをするおそれがあります。

 禁止

お手入れの際は、換気連動システムに対応した調理機器を操作しない
けがをするおそれがあります。

 必ず守る

お手入れの際は、次のことを守る

- ・厚手のゴム手袋を使用する
- ・部品が十分冷めてからおこなう
- ・本体のスイッチを「切」にし、スイッチをロックする ( 8ページ)

やけどやけがをするおそれがあります。

お願い

- 製品の変色、変質、変形防止のため、下記の洗剤などは使わないでください。
- 部品の変色、変質、変形防止のため、高温（浴用より高い）の湯の漬け置き洗いはしないでください。
- 高圧清掃水、高温スチームは使用しないでください。
 - ・汚れを長期間放置すると、油の滴下や汚れが落ちなくなったり、部品が外れなくなったりすることがあります。早めにお手入れをしてください。
 - ・お手入れ時は調理をやめ、鍋などはレンジフードの下に置かないでください。
 - ・高いところでの作業は、足元に十分注意してください。
 - ・キッチンのカウンター上や調理機器の上には乗らないでください。



塗装の変質・変色・はがれ防止のため、下記のようなものなどは使用しないでください。

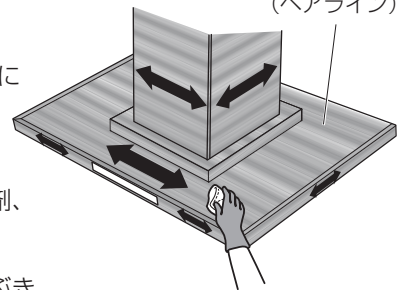


ステンレス素材（ヘアライン仕上）について

このレンジフードは、ステンレス表面にヘアライン仕上をおこなっています。傷が付きやすく、お手入れでは消えにくい傷が残る場合があります。また、表面がコーティング加工されているものに比べ、手垢、指紋が残ることがあります。できるだけ傷がつかないように、必ずステンレスの研磨目（ヘアライン）にそって、均一に弱い力で汚れをふき取ってください。

- 日常のお手入れ
ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸し、軽くしぼったやわらかい布、スポンジなどで軽くこすり、水でよくふき取ったあと、からぶきして洗剤、水分が残らないようにしてください。
- がんな汚れのお手入れ
メラミンスポンジに水をしみ込ませ、軽くしぼってふき取ったあと、水ぶき、からぶきしてください。

ステンレスの研磨目（ヘアライン）



はつ油塗装について

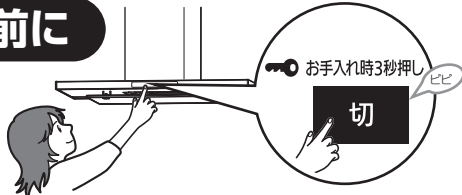
- 内フード、整流板、油捕集板には油汚れの取りやすい「はつ油塗装（フッ素処理）」をしています。

お願い

- ・油汚れをとりやすくする効果を生かすため、「お手入れのしかた」にしたがって掃除してください。長い間掃除しないと油汚れが落ちにくくなる場合があります。
- ・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを傷付けますので使用しないでください。

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



- ②厚手のゴム手袋
をする



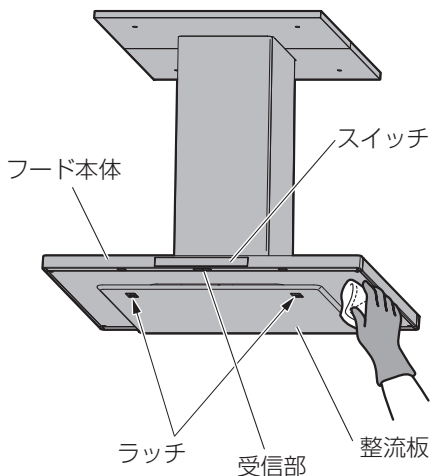
※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
（「切」を3秒長押し）

フード本体外側のお手入れ



お願い

- ・水や洗剤などを直接吹きつけないでください。故障や誤動作の原因になります。



お願い

- ・日常にお手入れをしてください。受信部の油汚れを放置すると、受信性能が低下します。
- ・換気連動システムをご使用の場合は、調理機器の送信部の汚れもふき取ってください。

- ①ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で油汚れをふき取る。

- ②水ぶきする。

- ・ご使用頻度や環境、調理の種類により汚れ度合いは異なり、付着した水分や油分が滴下するおそれがありますので、滴下前にふき取ってください。

お願い

- ・整流板固定金具（フック、ハンガー）を変形させないでください。整流板が落下するおそれがあります。
- ・部品が傷んできたら、早めに交換してください。

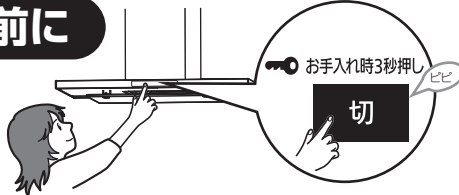
「1か月に1回程度のお手入れ」→次ページ

お手入れのしかた (続き)

お手入れ
1か月に
1回程度

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



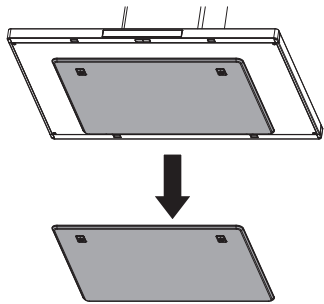
- ②厚手のゴム手袋
をする



※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
([切]を3秒長押し)

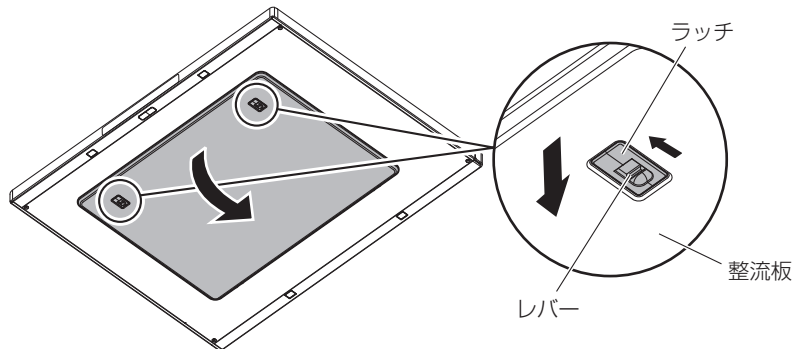
1 整流板のお手入れ (外しかた / 汚れを取る)

取り外す



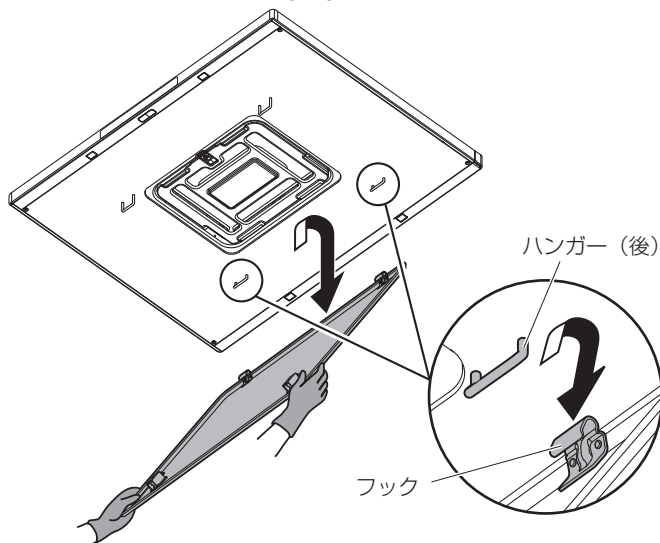
※油や結露水が流れ出ることが
あります。
整流板を下まで下げる前に、
内側を確認し、たまった油や
結露水はキッチンペーパー
などでふき取ってください。

- ①ラッチのレバーを手前に引きながら、引き下げる。

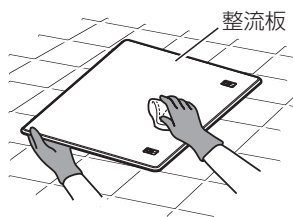


お願い 整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。
落下させると変形および破損のおそれがあります。

- ②フックをハンガー(後)から外す。



汚れを取る

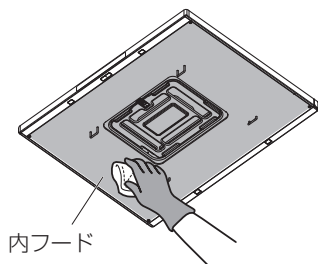
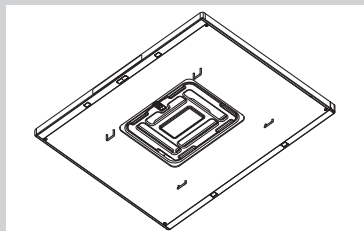


- ①水分を含ませたスポンジ・ふきんなどで
汚れをふき取る。
②がんな汚れの場合は、台所用中性洗剤
に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

お願い 外した整流板は平らな場所
でお手入れをしてください。
変形・傷の原因となります。

2 内フードのお手入れ（汚れを取る）

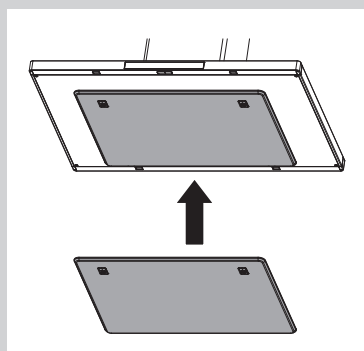
汚れを取る



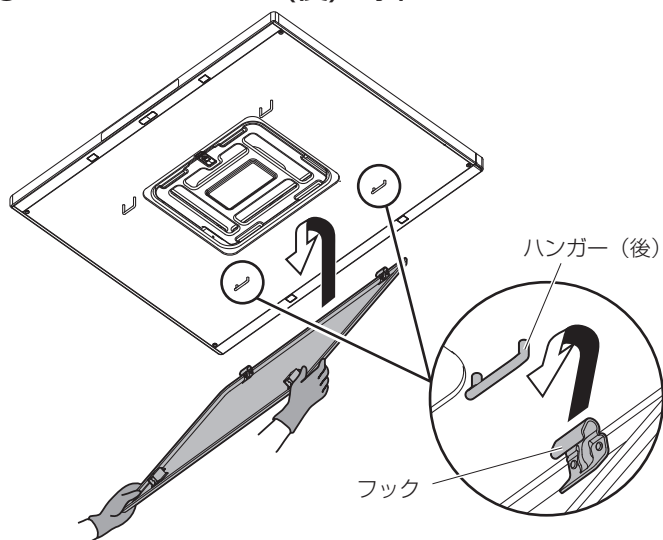
台所用中性洗剤に浸したスポンジで汚れをふき取る。
洗剤が残らないように水ぶきする。

3 整流板を取り付ける

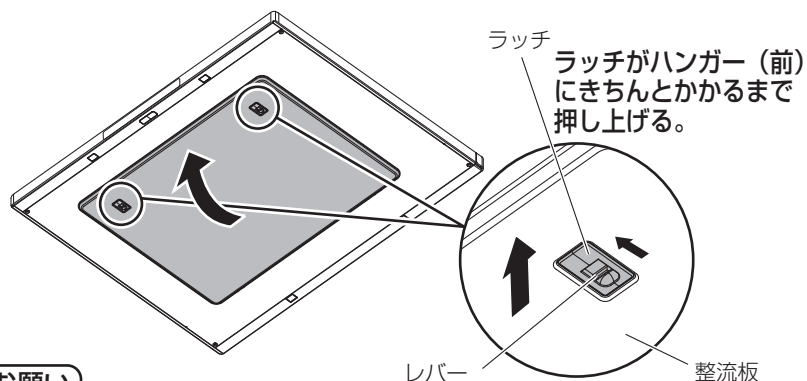
取り付ける



①フックをハンガー（後）に掛ける。



②ラッチのレバーを手前に引きながら、押し上げる。



お願い

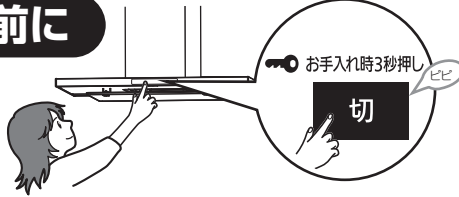
- ・整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。落下させると変形および破損のおそれがあります。
- ・整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

お手入れのしかた (続き)

お手入れ
1年に
1回程度

お手入れの前に

- ①スイッチを
ロックする
「切」を3秒長押し



- ②厚手のゴム手袋
をする

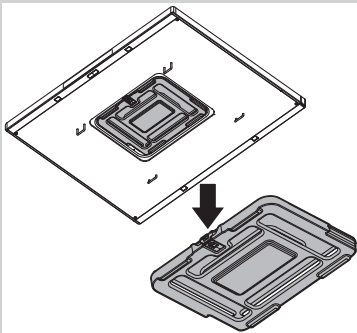


※お手入れのあとは
スイッチのロックを
解除してください。
〔切〕を3秒長押し)

- ① 整流板・内フードのお手入れをする
(① ~ ② 12~13ページ)

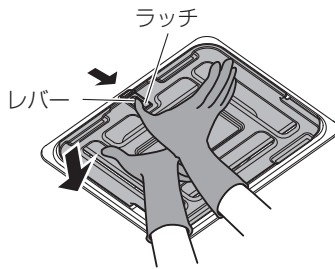
- ② 油捕集板のお手入れ (外しかた / 汚れを取る)

取り外す

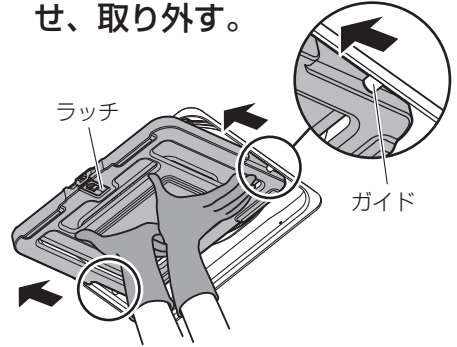


※油だれに注意してください。

- ①ラッチのレバーを
奥側に押しながら、
引き下げる。



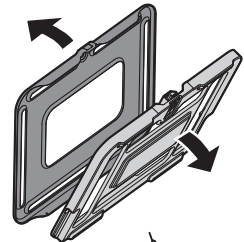
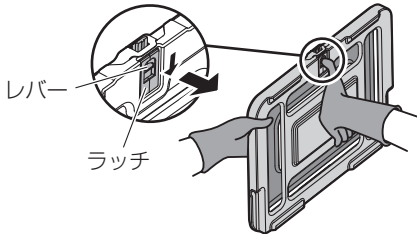
- ②油捕集板の中央を持ち、ガイ
ドにそって手前へスライドさ
せ、取り外す。



汚れを取る

※油捕集板は食器洗い乾燥機
で洗うことができます。
その際には、油捕集板を2つ
に分解して洗浄してください。
※他の食器や調理小物と一緒
に洗浄しないでください。
※食器洗い乾燥機を使うと
はつ油塗装効果が弱くなる
ことがあります。
※深い傷があるとさびの原因
となります。
早めに交換してください。
※油捕集板以外は、食器洗い
乾燥機は使用できません。
さびや変色のおそれがあり
ます。
※汚れによっては食器洗い乾
燥機で汚れが落ちきらない
場合があります。その際は
手洗いと併用してください。

- ①ラッチのレバーを押しながら外す。



- ②ぬるま湯を入れた容器に浸し、スポンジ
などで汚れを洗い落とす。

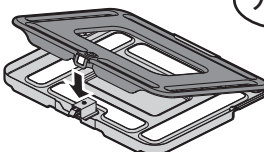
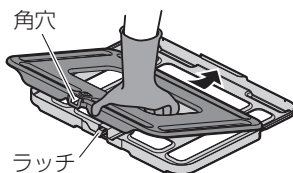
お願い

・金属たわしなどの硬いものは、コーティングを
傷付けますので使用しないでください。



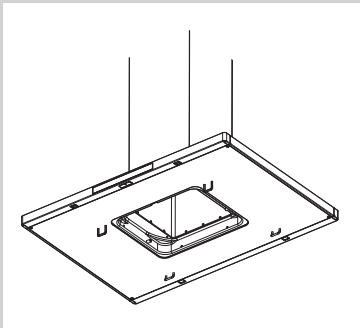
- ③水分をよくふき取り、乾燥させる。

- ④ラッチのレバーを押しながら油捕集板を取り付ける。



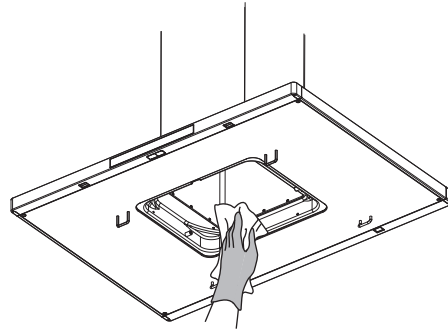
③ フードダクト内のお手入れ

汚れを取る



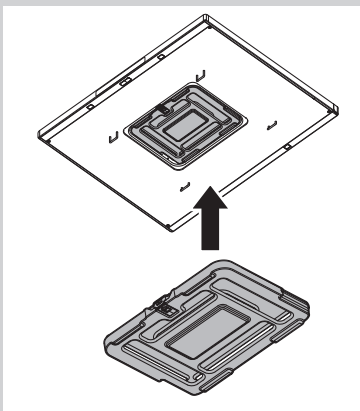
ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を浸した布で手の届く範囲で油汚れをふき取る。

※ダクト内を全てふき取りできなくても運転には差し支えありません。



④ 油捕集板を取り付ける

取り付ける

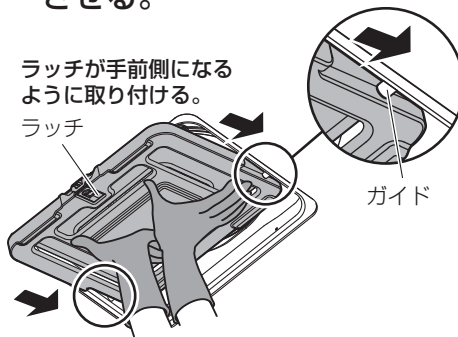


①油捕集板の中央を持ち、端をガイドにのせて奥にスライドさせる。

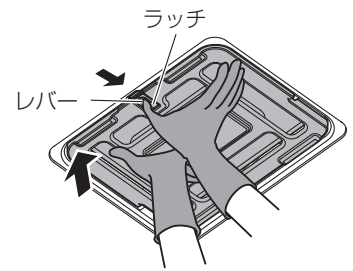
②ラッチのレバーを奥側に押しながら、押し上げてはめる。

ラッチが手前側になるように取り付ける。

ラッチ



ガイド



お願い 油捕集板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

⑤ 整流板を取り付ける (③ 13ページ)

設定を変えたいとき

下記の設定は、一度設定すれば分電盤のブレーカーを切ったり、停電したりしても記憶されています。再度設定する必要はありません。

センサー感度を変える

風量を「上がりやすく」または「上がりにくく」します。販売時は「ノーマルモード」です。

操作音 (ピ)

停止状態で同時に3秒以上押し続け、設定したい感度で指を離す。
(風量表示が止まり、設定位置で2秒間点灯します)

常時弱中強 常時弱中強 常時弱中強

高感度モード (風量上がりやすい) → 低感度モード (風量上がりにくい) → ノーマルモード (初期設定)

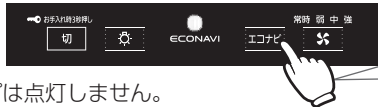
設定終了 (指を離す)

連動モードの設定を変える

換気連動システム対応の調理機器をご使用の場合に設定すると、調理機器の操作と連動してレンジフードが動作します。

換気連動モードの設定/解除

調理機器の「切/入」と連動してエコナビ運転します。販売時は「設定」されています。



※ ランプは点灯しません。

解除

停止状態で3秒以上押す。



再設定

再度3秒以上押すと「換気連動モード」に設定されます。



照明連動モードの設定/解除

換気連動システムが設定されているときに照明も連動します。販売時は「設定」されています。



※換気連動モードが解除されているときは、照明連動モードの設定ができません。

解除

停止状態で3秒以上押す。



再設定

再度3秒以上押すと「照明連動モード」に設定されます。



常時換気モードの設定/解除

レンジフードを常時換気設備として使用する場合に設定します。販売時は「解除」されています。



※スイッチ近くに「24時間連続換気してください」のラベルが貼ってある場合、建築基準法により常時換気が必要な建物です。常時換気モードに設定してご使用ください。

設定

停止状態で3秒以上押す。



解除

再度3秒以上押すと「常時換気モード」が解除されます。



※調理機器を切るか、「切」をタッチすると、残置運転後に1回タッチすると、残置運転時に24時間連続換気します。 ※調理機器を切るか、「切」を1回タッチすると、残置運転後に停止します。

油飛散運転の設定/解除

残置運転後に羽根を高速回転させ、羽根に付着している油を取り除きます。販売時は「設定」されています。



※「解除」にすると羽根の汚れが低減できません。

解除

(1)停止状態で「切」を押しながら
(2) を3秒以上を押す。



再設定



再度3秒以上押すと「油飛散運転」に設定されます。

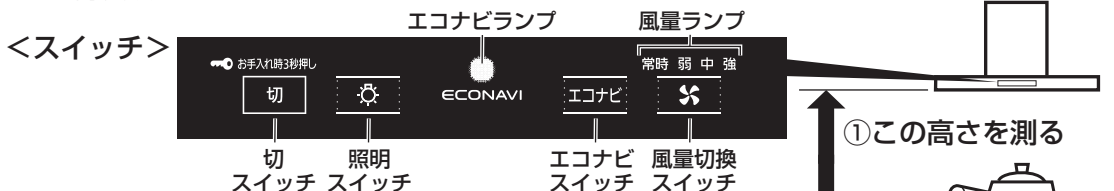



※ のみを3秒以上長押しするとスイッチがロックします。解除するには を再度3秒長押ししてください。

設置条件の初期設定 リフォーム、調理機器の買い替え、「」「」が点滅しているときに。


この操作は、設定が正しくされていないと思われるときのみにおこなってください。

- ※  ランプと  ランプ（緑）が点滅しているときは、初期設定がされていません。下記に従い設定をおこなってください。設定が終了するとランプは消灯します。分電盤のブレーカーを切ったり、停電したりしたときでも設定は記憶されています。再度設定する必要はありません。



- レンジフードの下端と調理機器上部の距離を測る。
(右図参照)
- 切** を3秒以上押してスイッチをロックする。
(「ピピ」と音がして、 ランプが点灯します)



- 照明** を押しながら、**風量切換** を3秒以上押す。
(「ピピ」と音がして設定しているランプ ()、風量ランプ) が点灯します



- エコナビ** を押して使用調理機器の種類を選択する。

 ランプ	使用調理機器
点灯	IH調理機器
点滅	ガス調理機器

(ランプ切り換わり時に「ピ」と音がします)



- 風量切換** を押して①で測った距離を設定する。
(ランプが下記のように切り換わり、都度「ピ」と音がします)

ランプ点灯状態	距離 (mm)
常時 点灯	800 ~ 849
弱 点灯	850 ~ 899
中 点灯	900 ~ 949
強 点灯	950 ~ 1000
常時+弱 点灯	600 ~ 649
常時+中 点灯	650 ~ 699
常時+強 点灯	700 ~ 749
弱+強 点灯	750 ~ 799

※防火性能評定品のガス調理機器または特定安全IH調理器適合品のIH調理器との組み合わせにおいてのみ、600～799(mm)で設置することが可能です。

- 切** を押して設定を終了する。
(「ピー」と音がしてランプがすべて消灯します)



故障かな！？ 修理を依頼される前に次の点をもう一度お調べください。

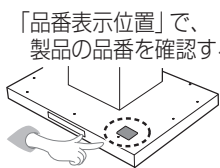
お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

1



下記の項目を読み、該当する内容がないか確認する。
該当する項目が無ければ・・・

2






「品番表示位置」で、製品の品番を確認する。

3



お買い上げの販売店または裏表紙に記載のご相談窓口にご電話する。

症 状	原 因	対 応 (参照ページ)
運転しない	スイッチがロックされていませんか。	ロックを解除してください。(8ページ)
	分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
吸い込みが悪い	屋外フードが目づまりしていませんか。	屋外フードを清掃してください。
	油捕集板が油、ほこりなどで目づまりしていませんか。	清掃してください。(10～15ページ)
	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
	エアコンなどの風があたっていませんか。	風があたらないようにしてください。
	設置条件の設定は正しいですか。	設定が正しいかご確認ください。センサー感度を変更し、排気風量を(「上がりやすく」または「上がりにくく」)に設定することができます。(16ページ)
換気連動しない (調理機器を「入・切」してもレンジフードが動作しない)	換気連動モードが解除されていませんか。	換気連動モードを再設定してください。(16ページ)
	送信部・受信部が汚れていませんか。	清掃してください。(11ページ)
	<IH調理機器の場合> 鍋などで送信部が隠れていませんか。	送信部が隠れないようにしてください。(9ページ)
	<ガス調理機器の場合> ・赤外線信号が反射できていないおそれがあります。	送信部の近くに立ちすぎたり、離れすぎている場合、動作しないことがあります。(9ページ)
	<ガス調理機器の場合> ・調理機器の電池が消耗していませんか。	調理機器の電池を確認してください。(9ページ)
調理機器側の操作で羽根の運転が停止しない	常時換気モードに設定されていませんか。	設定を解除してください。(16ページ)
給気電動シャッターが閉じるのが遅い	—————	故障ではありません。シャッターからの風切り音を低減させるためです。
急に動き始める	油飛散運転が設定されていませんか。	油飛散運転の運転音が気になる場合は設定を解除してください。(16ページ)
調理機器と連動して照明が点灯/消灯しない	照明連動モードが解除されていませんか。	再設定してください。(16ページ)
	手動で照明を操作しませんでしたか。(直前に手動で操作した場合、手動操作が優先されます)	手動で照明を消灯してください。(8ページ)

症 状	原 因	対 応 (参照ページ)
運転終了直後に風切り音がする	電動シャッターを使用していませんか。	故障ではありません。 シャッターが閉まるときに空気の通路が狭くなるために起こる音です。
異常音がする	給気は十分ですか。	十分な給気を確保してください。
「  」と「  」ランプが同時に点滅している	「設置条件の初期設定」がされていません。	「設置条件の初期設定」を参考に設定してください。 (17ページ)
「常時」「弱」「中」「強」ランプがすべて同時に点滅している	モーター故障のおそれがあります。	使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店、工事店または裏表紙に記載の修理ご相談窓口にお問い合わせください。
「常時」+「中」と「弱」+「強」ランプが交互点滅している	通信エラーのおそれがあります。	
「  」ランプが点滅している	センサー故障のおそれがあります。	
レンジフード運転中、風量ランプが点滅している	残置運転中は、風量ランプが点滅します。	故障ではありません。(3ページ)

処置したあとに、なお異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず分電盤のブレーカーを切り、お買い上げの販売店・工事店または裏表紙に記載のご相談窓口にお問い合わせください。

仕様

品番	質量(kg)	定格	风量調節	消費電力(W)	換気风量(m ³ /h)	騒音(dB)
GS1BHWZM55	30	a.c.100V 50/60Hz	強	29.5	420	38
GS1BHWZM75	31		中	13.5	300	30
GS1BHWZM90	32		弱	6	180	20
			常時	4	135	17

- 上記仕様は静圧 0Pa (パスカル) 時の値です。
静圧 0Pa (パスカル) とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。
- このレンジフードは、ご使用にならないときでも約0.6Wの電力を消費しています。
- レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。
- 消費電力・換気风量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。
- 騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(18～19ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	レンジフード
●品番	
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

●転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口にご相談ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

レンジフード保証書

※お 客 様	お名前	様	※お引渡し日	年	月	日
	ご住所		シリーズ・品番	GS1BHWZM55	GS1BHWZM75	
	電話番号			GS1BHWZM90		
※販 売 店	取扱販売店名・住所・電話番号		保証期間（お引渡し日から）	1年間		
				（ただし消耗部品は除く）		

ご販売店様へ 上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間内に発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものとさせていただきます。

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
 - この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 消耗部品（電球、フィルター、電池）の取替えや修理
 - お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び水害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
 - 車両、船舶等に搭載された場合には、衝撃及び振動
 - 仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申出がなかったもの
 - 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび等の発生、変色、その他類似の事由による場合
 - 維持管理の不備による汚れ、さび等の発生
 - 取付設置説明書に記載された方法以外の取付方法に起因する損傷や故障
 - 契約時、実用化されていた技術では予測できなかった現象またはこれが原因で生じた事故による場合
 - 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
 - 一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご提示がない場合
 - 保証書にお引き渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
- 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は裏表紙をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 水廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

TEL(06)6909-7676(代表)

パナソニックエコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

TEL(0568)81-1511(代表)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本産業規格 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび / または60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取付設置説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)}	
		台所 2410時間/年	
		居室 2193時間/年	
		トイレ 2614時間/年	
		浴室 1671時間/年	

注^{a)} 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8760時間/年とする。

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命は

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

【受付時間】月～金 / 9:00～18:00 土・日・祝日 / 9:00～17:00



0120-055-802

※携帯電話からもご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。

※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1224



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでの依頼も可能です。

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00



0120-872-150

※携帯電話からもご利用になれます。

●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6906-1090



商品の
お問い合わせは

住宅設備・建材商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

【受付時間】365日 / 9:00～18:00



個人のお客様 0120-878-093 ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6780-5779

法人のお客様 0120-187-150 ●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6904-7270

※携帯電話からもご利用になれます。

●FAX…0120-872-460



Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 – 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

- ※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。
- ・ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のレンジフードの点検を！



このような
症状はあり
ませんか

- ・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- ・運転中に異常音がしたり振動がある。
- ・異臭がする。
- ・その他、異常を感じる。

ご使用
中止

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事に点検・修理を依頼してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Corporation 2017-2022

9DCS24202BMDX-P1017-2092